

## 平成 25 年度 JCVS 臨時総会議事録

日時：2014 年 1 月 10 日（金）18:30～19:00

場所：仙台国際センター 1 階小会議室 1

成立要件（67 名中 34 名以上）：出席者 28 名、委任状 25 名の 53 名で成立

議事録署名人：中市統三（山口大学）、奥村正裕（北海道大学）に依頼

議事：大橋会長により議事進行

### 1. 協議事項

#### (1) JCVS の立ち位置について：大橋会長より説明

獣医麻酔外科学会の法人化移行を想定し、JCVS の組織運営体制の対応を検討する必要が生じていることを説明後、先に開催された会長・副会長会議の原案が示された。協議の結果、以下の結論を臨時総会として承認した。

学会から切り離して別の団体として活動する選択肢もあるが、予算面、組織体制、わが国の専門医認定機構の進捗状況等を加味して、獣医麻酔外科学会の傘下（例えば、外科専門医委員会等）で活動する。

### 2. 報告事項

#### (1) 研修内容の変更点について：廉澤資格審査委員長より説明

既に平成 26 年度研修要領小冊子としてホームページに掲載済みである以下の変更点について、報告がなされた。

- ・ 「別枠受験資格認定制度」は、当面の間は期限を設けずに継続する。
- ・ 指導専門医は、レジデントが研修プログラムの要件 4（必要な手術件数）を修了した時点で、新たなレジデントを受け入れることができる。
- ・ レジデントの第 1 術者の定義について、“その重要な部分の実施を指導専門医が行ったとしても、レジデントが第 1 術者として実施可能となるように直接指導ができたと言指導専門医が認めれば、執刀に加えることができる”を加える。
- ・ レジデントは 3 年間で 400 件以上の手術経験が必要であるが、臓器毎の手術数は 10% までの増減を認め、他の手術に置き換えることができる。
- ・ 筆頭著者の英文論文については、原著、短報、症例報告の種類を問わないこととする。
- ・ 平成 26 年度より研修施設、研修プログラムの再認定が必要となる施設は、

本年度中に事務手続きを実施する。

これらの変更点は、総会承認時点の平成 26 年 1 月 10 日から施行することとなった。

以下の質問があった。

- ・ 英文雑誌の定義について質問があり、レフリー制度のあるもの、国内雑誌でも良いことが確認された。
- ・ 論文内容としての外科学の定義について質問があり、審査委員会が審査時に個々に判断することになった。

## (2) 平成 26 年度専門医認定試験について：宮原試験委員長により説明

以下の日程、場所にて実施する。

- ・ オリエンテーション：平成 26 年 5 月 16 日（金）
- ・ 試験日：平成 26 年 5 月 17 日（土）、18 日（日）
- ・ 合否判定：平成 26 年 5 月 18 日（日）
- ・ 場所：東京大学フードサイエンス棟
- ・ 問題作成手順：従来の手順に加え、専門医の相川先生、枝村先生に最終チェックをお願いする。

以下の質問等があった。

- ・ 専門医の相川先生、枝村先生の最終チェックの役割について質問があり、骨子は試験委員会が吟味しているので尊重するが、さらに問題の精度を高めること、将来の引き継ぎの準備としての役割があることを確認した。なお、問題作成の手続きは時間を要するので、短期間でのチェックをお願いする。
- ・ 受験者人数を把握したいので、指導専門医の先生に前もって申し出てもらうことをお願いした。
- ・ 問題作成や解答の根拠とするテキストおよび雑誌を規定すべきとの質問に対しては、既に出題と根拠のテキストと雑誌は規定していることを確認した。

## 3. その他

### (1) 今年度の資格審査委員会の認定作業について

今年度末の各種提出書類の認定作業は、当該委員に加えて、関東圏の専門医

の先生方に依頼して実施することにする（10名程度）。

(2) 今後の外科と麻酔の分離およびアジア圏との関係について

本専門医制度の外科と麻酔の分離については今後前向きに検討すること、またアジア獣医外科学会とは協調して進めていくことが確認された。

以上

